

将来のために知っておきたいお金のこと

東海財務局では、学校（小中高大）の授業に**無料**で講師を派遣しております。

ご要望に応じて、金融関係団体や地域金融機関などとも調整し、コンテンツをご提案させていただきますので、お気軽にご相談ください。

2022年4月から、高校の学習指導要領が改訂され、家庭科や公民科で資産形成などについて学ぶ時間が設けられました。

また、成年年齢が18歳に引き下げられ、金融に関する様々な契約を親の同意を得ずに行えるようになり、金融経済教育の重要性が高まっています。



出張授業について

- * 平日午前10時から午後3時までの間で開催いたします。
- * 講義時間は、1～2コマ（1コマ当たり45分～50分を想定）
- * 会場の確保は申込者様でお願いします。
- * 日時・時間・内容等ご相談に応じます。



申込方法

希望日の2ヵ月前までに、下記申込先にお電話でご連絡ください。

お電話でのお申込み後、『講師派遣応募用紙』をお送りしますので、必要事項を記入のうえ、メール又は郵送にてご提出ください。

申込先・問い合わせ先

東海財務局 理財部 金融監督第4課
〒460-8521 名古屋市中区三の丸3-3-1
☎：052-951-1779 E-mail：kinyukouen@tk.lfb-mof.go.jp

出張授業コンテンツ例

小学生 ～お金の役割や大切さを知ろう～

- 『お金の教室』（東海財務局主催）
 - ▶ お金の機能や役割、将来の夢とライフプラン、金融のしくみについて学習します。
- 『おかしな株式会社』（日本証券業協会主催）*体験学習プログラム
 - ▶ 会社経営をしながら、株式会社の仕組みやお金の流れを学習します。



- （実施した先生の声）
- 実際にお菓子の会社を運営するという体験をしながら「株式」の仕組みについて楽しく学ぶことができました。
 - 自分の企画をプレゼンするという経験は今後も役立つものでした。
 - グループで話し合い、自分たちの考えが商品になり、クラスメイトに評価してもらった体験を通じて株式会社で働くことを楽しく学びました。

小学校高学年・中学校向け体験学習プログラム

2時間 チャレンジ！おかしな株式会社
(45分 × 2コマ)

会社経営を体験しながら、株式会社の仕組みやお金の流れを学習できるアクティブラーニングの要素を含んだプログラムです。

学習の流れ /

- 1 会社のしくみを知ろう (20分)
- 2 新商品を売り出そう (7-9分)
- 3 新商品を売り出そう (7-9分)
- 4 振り返り (3分)

01 会社ってなんだろう
02 会社はどんなことをしているのかな
03 会社はどんなことにお金を使っているのかな
04 会社はどうやってお金を集めるのかな
05 株式会社のしくみを知ろう

新商品のおかしな開発しよう
班に分かれておかしな会社を運営します。話し合っておかしの新商品のおかしな考え、パッケージをデザインします。

株式を出して、新商品を作るお金を集めよう
新商品のおかしな商品をつくるための機械や材料を買うお金を株式で集めるため、新商品の魅力を伝えるプレゼンテーションをして、クラスメイトから投資を募ります。

今日学んだことをまとめてみよう
今日の授業で学んだことをアニメーションを見ながら振り返ります。

実施されている主な科目

| | |
|-----|--------------|
| 小学校 | 総合的な学習の時間・社会 |
| 中学校 | 社会・総合的な学習の時間 |

ワークブックと楽しいアニメーションで会社のしくみについて学びます。

班で協力して、魅力的な新商品のおかしな考えます。

おかしな株式会社

中学生・高校生 ～将来の自立に向けて金融知識を身につけよう～

- 『社会に出る前に知っておきたいマナーの基礎知識』（日本証券業協会主催）
 - ▶ ライフプランとマネープラン、金融商品のリスクとリターンなどの関係を学習します。
- 『金融トラブルにあわないために』（東海財務局主催）
 - ▶ 金融トラブルの例や対処法について学習します。
- 『生活設計とリスクへの備え』（生命保険文化センター主催）
 - ▶ 家庭科向け 将来のライフイベント（結婚や教育等）でかかるお金をクイズ形式で考えるとともに、身の回りのリスクに備える方法として、社会保険や預貯金・民間保険について学習します。

【生命保険文化センター主催の講座について】
テーマごとに、中学生向け・高校生向けにあわせて、授業進行用PowerPointスライド・専用の生徒用ワークシートをご用意しています。

※2コマ連続の場合、生命保険文化センター作成の生徒用ワークブック「君とみらいとライフプラン」を使い、ライフプラン表を作成する作業(アクティブ・ラーニング)を実施することも可能です。

君とみらいとライフプラン

さまざまなライフイベント

進学 独立(1人暮らし) 結婚

親になる 住宅購入

- 『「人生100年時代」に必要な備えとは？』（生命保険文化センター主催）
 - ▶ 社会科・公民科向け 「人生100年時代」を切り口に、少子高齢社会における社会保障制度のあり方やリスクから自分の身を守る手段として、「社会保険」や「民間保険」等といった「自助・共助・公助」について学習します。

リスクに備える

自助
自分で備える
預貯金 民間保険

共助
共に備える
健康保険や年金などの「社会保険」

公助
国などが備えてくれる
生活に困っている人などを支援

金融経済教育に関する国の施策・方針

「新しい資本主義のグランド・デザイン及び実行計画」抜粋（令和4年6月7日閣議決定）

Ⅲ. 新しい資本主義に向けた計画的な重点投資

1. 人への投資と分配

(3) 貯蓄から投資のための「資産所得倍増プラン」の策定

「我が国個人の金融資産2,000兆円のうち、その半分以上が預金・現金で保有されている。この結果、米国では20年間で家計金融資産が3倍、英国では2.3倍になっているが、我が国では1.4倍である。[家計が豊かになるために家計の預金が投資にも向かい、持続的な企業価値向上の恩恵が家計に及ぶ好循環を作る必要がある。](#)

このため、個人金融資産を全世代的に貯蓄から投資にシフトさせるべく、NISA（少額投資非課税制度）の抜本的な拡充を図る。また、現預金の過半を保有している高齢者に向けて、就業機会確保の努力義務が70歳まで伸びていることに留意し、iDeCo（個人型確定拠出年金）制度の改革やその子供世代が資産形成を行いやすい環境整備等を図る。これらも含めて、新しい資本主義実現会議に検討の場を設け、本年末に総合的な「資産所得倍増プラン」を策定する。

[高校生や一般の方に対し、金融リテラシー向上に資する授業やセミナーの実施等による情報発信を行う。](#)」

「経済財政運営と改革の基本方針2022」抜粋（令和4年6月7日閣議決定）

第2章 新しい資本主義に向けた改革

1. 新しい資本主義に向けた重点投資分野

(1) 人への投資と分配

(「貯蓄から投資」のための「資産所得倍増プラン」)

「...投資による資産所得倍増を目指して、NISA（少額投資非課税制度）の抜本的拡充...など、政策を総動員し、[貯蓄から投資へのシフトを大胆・抜本的に進める](#)。これらを含めて、本年末に総合的な「資産所得倍増プラン」を策定する。その際、[家計の安定的な資産形成に向けて、金融リテラシーの向上に取り組む](#)とともに、家計がより適切に金融商品の選択を行えるよう、将来受給可能な年金額等の見える化、デジタルツールも活用した情報提供の充実や金融商品取引業者等による適切な助言や勧誘・説明を促すための制度整備を図る。」

「2022事務年度 金融行政方針」抜粋（令和4年8月31日公表）

Ⅱ. 社会課題解決による新たな成長が国民に還元される金融システムを構築する

1. 国民の安定的な資産形成と資本市場の活性化

(1) 国民の安定的な資産形成の促進

① 貯蓄から投資へ

「...個人金融資産を全世代的に貯蓄から投資にシフトさせるために、NISAの抜本的拡充に向けた検討を行う。その際、利用者のすそ野を広げる観点からは、簡素で分かりやすく、また長期にわたって少額からでも資産形成に取り組めるよう安定的な制度とすることが重要である。...」

② 金融リテラシーの向上

「...金融庁・財務局では、[新学習指導要領に対応した授業の円滑な実施を支援するため、教育現場と連携し、指導教材や授業動画を活用した出張授業や、教員向けの研修を実施する](#)。また、[金融機関や業界団体においても、様々な形で資産形成に関する情報提供や金融経済教育が実施されている](#)。こうした民間における取組みの実態を把握し、これらと有効に連携しつつ、国全体として、中立的立場から、資産形成に関する金融経済教育の機会提供に向けた取組みを推進するための体制を検討する。」

東海財務局の学校向け 出張授業のご案内

財務省 東海財務局